

育てよう!地域に夢と活力を

第37号  
2025年1月

# 真庭商工会 会報

今号の表紙 「勝山のお雛まつり」 (勝山地区)



▲酒のもりもと (店内のお雛様の様子)



KEN 工房 町並み店▶  
(店先の吊るし飾り)

## ~今号の内容~

- P1 【地域のイベントのご紹介】
- P2 【会長年頭挨拶】
- P3 【真庭市長・新庄村長年頭挨拶】
- P4 【青年部報告】
- P5 【女性部報告】
- P6~7 【事業報告】
- P8 【決算書の読み方(コラム)】
- P9 【真庭SDGsパートナー企業紹介】
- P10~11 【まにわの🍷】
- P12 【告知等】

## ~第27回勝山のお雛まつり~

勝山のお雛まつりは、桃の節句を祝って街並み保存地区から新町商店街の約1キロ区間の民家や商家の軒先や道沿いの部屋にお雛様を飾っています。

令和7年2月28日(金)~3月3日(月)



# 新年のご挨拶



真庭商工会  
会長 大月隆行

互に連携し協力しながら伴走型支援の実施、地域振興事業への対応を行って参りました。役員の皆様、そして会員の皆様のご努力とご協力で厚くお礼申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和7年の晴れやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は真庭商工会の活動に多大なるご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年、令和6年は能登半島地震に始まり、豪雨災害等天災に見舞われた一年でした。被災された皆様には衷心よりお見舞い申し上げる次第です。一方、社会、経済においては、円安が進み、エネルギー、資材価格が高止まりする中で、消費者物価が上昇するインフレ経済へのシフトが進み、政府は最低賃金の政策的な引き上げを促進しています。中小企業・小規模事業者においては、継続する人口減少の下、人手不足やそれに伴う業務負担増への対処、生産性の向上、人材獲得のための賃上げへの努力等、事業の存続をかけた経営に注力する一年でした。そして当真庭商工会においては、職員が相

始しています。会員の皆さまはもとより、多くの皆さまに登録いただきましたようお願いたします。

令和7年の干支である乙巳(きのとみ)は、「成長のための変化」や「新たな方向性の模索」を意味しており、新たな一歩を踏み出す年とことです。不安定で不透明、不確実な政治・経済・社会のなか、経営の中枢にいる立場としてチャレンジ精神を持ち、変化への適応と自己の革新に取組み、事業の存続発展と社員の幸せの実現、そして社会への貢献を果たさねばなりません。真庭商工会は、個々の会員に伴走し、デジタル化支援、経営革新計画策定支援、事業承継支援に取組むと共に、新年から始まる全4回の「まにわ創業塾」を開催して、新創業の一層の推進支援に取組んで参ります。そして、真庭市、新庄村の行政、真庭観光局、教育委員会、(一社)真庭DX戦略推進協議会等々の関係団体との連携を一層強化し、SDGsの理念のもと、地域経済の発展と真庭の未来を創り、地域産業を守る役割をシツカリと担って参ります。本年も、会員事業者に一層役立つことのできる真庭商工会となるよう役員一同研鑽努力を積んで参りますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸、そして本年が素晴らしい一年となりますよう祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 新会員さん紹介

令和6年5月〜12月

(敬称略)

### 北房

坂田桃香  
旬彩キッチン「茶緒」(原田礼子)

### 落合

奥田建築(奥田勝正)  
雲上亭(伴野隆子)  
植木農産(植木一徳)  
森本建築(森本育宏)  
吉縁起村協議会

### 久世

Cafe まっちゃん(松下昌平)  
大原屋前田商店(前田茜)

### 勝山

菅原造園(菅原陽二)

### 湯原

MM経営研究所(瀬長昌宏)

### 蒜山

株式会社つめのフーズ  
一般社団法人 はにわの森

### 新庄

ほすけりこ(白井崇来)



真庭市長  
太田 昇

新年あけましておめでどう、ございます。皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より本市の商工業をはじめとする産業振興に御尽力され、本市が掲げる「回る経済」の確立に向け、市政各般にわたり深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市においても人口減少が進む中、若者と女性の活躍に注力し、すべての「ひと」が安全で安心して暮らせる「まち」づくり『多彩な真庭の豊かな生活』真庭ライフスタイルの実現をめざし、「第3次真庭市



新庄村長  
小倉博俊

新年あけましておめでどう、ございます。真庭商工会の会員並びに関係者の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より真庭地域の経済・産業の振興に大きな役割を果たしておられることに敬意を表しますとともに、村づくりに対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は地震や豪雨災害などの発生により、北陸地方では多くの尊い命が犠牲となりました。被災された皆様にご心よりお見舞いを申し

総合計画」の策定に取り組んでおります。

その柱の一つとして、若者が安心して、子どもを産み育てることができるとまちなりに向けて「こどもはぐくみ応援プロジェクト」に取り組んでおり、その一環として子育てをしながらでも安心して働ける環境の整備を進めております。

そして女性のスキルアップ支援等、ライフステージにあわせた柔軟な働き方を推進し、女性が益々活躍できるよう引き続き取り組んでまいります。

さらに、これまで市では高校の魅力化に取り組んでおり、昨年7月には生徒の成長とチャレンジを後押しするため「真庭市ゆめ学び創造基金」を設立しました。高校は、地域産業にも大きな影響を与え、また、地域を活性化する重要な役割を担っています。この取組には、商工会の皆様のご協力が必要不可欠となりますので、よろしくお願い致します。

また、市と真庭商工会、晴れの国岡山農協が運営する「真庭市産業サポートセンター」では、創業支援や事業者へのサポートを実施

してまいります。昨年は、地域経営への参画意識の醸成を目的に経営講座を開催しました。今後も地域経済の活性化に貢献できるような層の取組を進めてまいります。

「まにこいん」の活用推進においても、商工会をはじめ、事業者の協力が不可欠です。現在、税金の支払いや健康管理などの機能を追加し、人口の過半数の2万人を超える方々にご利用いただいています。今年さらには、行政サービスや地域情報の配信等の生活に役立つ機能を追加し、市民に身近なポータルアプリとして進化します。これにより、地域経済の活性化はもろろん、暮らしを一層便利で豊かなものにしてまいります。

加えて、昨年4月から本格運行を開始した「チョイソコマにわ」は、おかげさまで会員数は1300人を超え、また、エリアスポンサーも30超の事業所にご賛同いただき感謝申し上げます。引き続き、スポンサーを募集しておりますので、「チョイソコマにわ」が地域で守り育てる公共交通として定着するよう皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

そして、生ごみ等資源化施設・バイオ液肥濃縮施設「まにくるーん」がいよいよ本格稼働します。この取組は、生ごみを資源とすることで燃えるごみを減らし、環境にも家計にもやさしく、液肥も活用できる農業振興の取組でもあり、生ごみの分別が鍵となります。商工会女性部の皆様におかれましては、これまでのごみの分別啓発活動等の取組の発表が全国大会において優秀賞に輝くなど、SDGs啓発活動に多大な貢献をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。引き続き、資源分別の推進にご協力をお願いいたします。

本市は、3月に市制20年の節目を迎えます。「真庭ライフスタイル」を推進し、持続可能な地域社会の実現に向け、商工会をはじめ関係団体や市民の皆様と一体となって取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、真庭商工会の益々の繁栄と、皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

上げますとともに一日も早い復興をお祈りいたします。

自然災害は近年全国各地で多発しており、村においても自助・共助・公助の体制をそれぞれの立場において再確認し、改めて防災意識の向上と地域の防災体制強化に取り組んでいるところです。昨年は、道の駅を運営する(株)メルヘン・プラザが商品開発した「ヒメノモチフリーズドライごはん」を災害時の備えとして備蓄し、防災訓練において村民へ配布いたしました。

新庄村のヒメノモチは旭川源流の清らかな水と夏場の昼夜の寒暖差により、お餅加工した時の粘り・コシの強さ・甘み・白さが際立つて高く、県内外から高い評価を得ています。このヒメノモチのフリーズドライごはんも、高カロリーで栄養価が高く美味しい非常食として今後の需要が益々期待される場所です。高まる需要にも応えるべく、ヒメノモチ米の生産量の維持・増大に取り組む未来への投資策のひとつ「ヒメノモチ成長産業化推

進計画」のもと、施設整備を進めてまいりました。昨年は収穫したもち米を管理するライスセンターが完成し、本年は村内三つ目となるもち米の加工場の整備を進めているところです。村内での生産・加工・流通販売の一元体制を確立し、今後も地域内経済の循環と生産農家の所得向上に努めるとともに、農地の継続維持や新規就農へ繋げていきたいと考えております。

林業施策では、昨年から民有林における山主の自己負担をゼロにするなど、再造林事業を強化促進してまいりました。山地災害に強い森林を維持し、森林資源の活用を継続していくために、今後もサイクル林業の継承に取り組んでまいります。

さらに、商工観光振興への強化取組としては、役場の商工観光係をいせん桜通り内の真庭商工会新庄支所と同施設へうつし、9月から業務を開始いたしました。真庭商工会員をはじめとする村内商工業事業者や各団体との連携強化に重点をおき、村内外を結ぶ地域振

興の拠点となるよう4月から本格稼働いたします。

本年の干支である巳年(み)を結ぶ年とも言われております。昨年4月に発表された「地方自治体『持続可能性』分析レポート」では、新庄村が「消滅可能性自治体」から脱したという結果が示されました。少子高齢化や人口減少の波が押し寄せる中、村の持続発展をどう維持していくのか、本年も諸課題に向き合い、成長戦略7つのエンジン施策がしっかりと実を結ぶよう取り組んでまいります。

景気は緩やかに回復傾向であると言われておりますが、物価高による影響は続いております。そのような中、日々地域事業者に寄り添い、支援をいただいておりますことを感謝いたします。今後とも真庭商工会のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、貴会の更なるご繁栄と皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。